

「日医標準レセプトソフト」

出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度
実施要綱の一部改正について

2010年7月16日

(追補版)

社団法人 日本医師会

■ 「出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度」実施要綱の一部改正について**1. 改正の概要**

正常分娩に係る専用請求書の提出について、光ディスク等によるCSV情報により提出する場合に限り、出産後退院した日の属する月の25日までに到達するよう提出することが認められました。この改正は平成22年7月1日から適用となります。

(※25日提出分のCSVデータについてはファイル名が変更となりますので注意が必要です。詳細は4頁の「③25日提出CSVデータの変更詳細」を参照してください。)

改正の概要については厚生労働省ホームページに掲載されている資料を参照してください。

・「「出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度」実施要綱」の一部改正について

http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryohoken/iryohoken09/07-1_1a.pdf

2. パッチモジュールの適用

今回の対応はプログラム更新機能によるパッチ提供、及びマスタ更新機能により提供を行います。【(M00) マスターメニュー画面】より「03 プログラム更新」を選択し【(M97) プログラム更新管理一覧画面】よりプログラム更新を実施してください。

プログラム更新が完了したら引き続きマスタ更新を実施してください。

※プログラム更新とマスタ更新の処理順はどちらを先に実施されても問題ありません。

《留意事項》日レセVer4.4のプログラム更新後の再起動について

今回の対応は【(I07) 出産育児一時金画面】に選択項目の追加があることから、Ver4.4を使用されているユーザについてはプログラム更新により7月16日提供のパッチを反映させた直後に日レセの再起動が必要となります。(Ver4.5についてはプログラム更新時に自動的に再起動が行われます)

再起動方法については別紙「プログラム更新再起動(ver440).pdf」を参照してください。

掲載場所：<http://www.orca.med.or.jp/receipt/outline/revision/200910.rhtml>

3. (107) 出産育児一時金画面の設定項目追加について

正常分娩の患者について退院月の25日請求とする場合は、【(107) 出産育児一時金画面】に新設された「請求日」を設定するコンボボックス（初期表示は“10日請求”）を“25日請求”に設定後、登録してください。

【(107) 出産育児一時金画面】

※ 25日請求は正常分娩時のみ選択可能です。

4. 専用請求書CSVデータの作成

【(I07)出産育児一時金画面】で25日請求と設定された患者分のCSVデータを作成するには、以下の手順で作業を実施することになります。

- ①「52 月次統計」より出産育児一時金請求書の処理を行います。
 マスタ更新済みであれば、パラメタに“提出日区分”のパラメタが追加されていますので、提出日区分パラメタに“2”（25日請求）を指定して処理を行ってください。

追加となったパラメタ

提出日区分・・・1：10日請求分が対象（従前と変わらない10日での請求）
 2：25日請求分が対象

【(G01)月次統計画面のパラメタ指定】

- ②引き続き「44 総括表・公費請求書」よりCSVデータの作成を実施します。

【(T01)総括表・公費請求書作成画面】にて診療年月（※1）を入力し、ファイル出力先のコンボボックス選択によりCSVデータの出力先を決定後、Shift+F7（公費CSV）を押下し、【(T04)地方公費CSVデータ一覧画面】に遷移します。

【(T04)地方公費CSVデータ一覧画面】

作成対象の番号を選択番号欄に入力しF12（保存）押下によりCSVデータの作成を開始します。画面に表示される件数は、コントロールレコード、データレコード、エンドレコードの累計件数をあらわします。

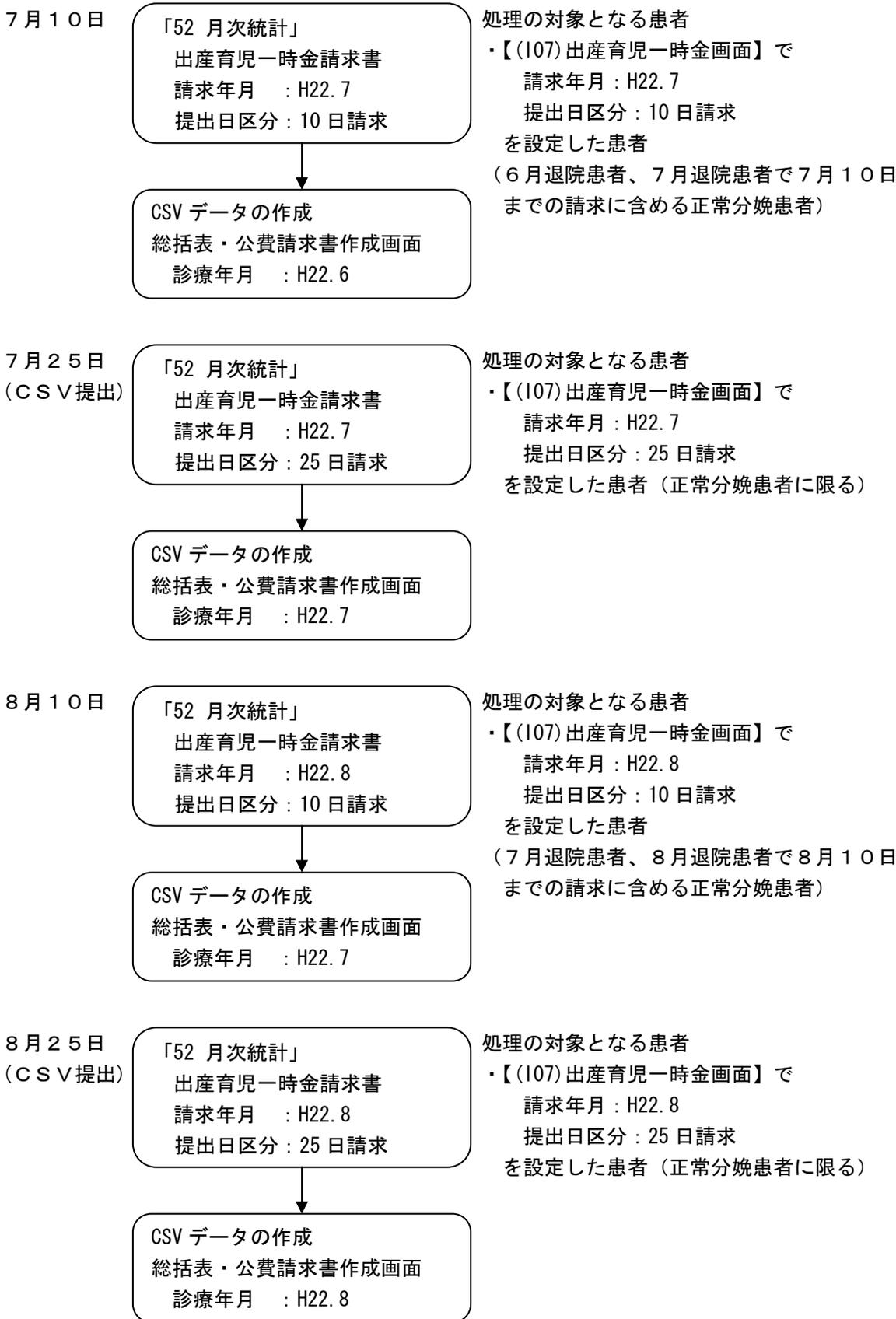
- （※1）25日提出データ作成時の診療年月については、25日提出データのほとんどが提出日の属する月の分娩に係るものであることから、【(I07)出産育児一時金画面】で請求年月に7月、提出日区分を25日請求と設定された患者の処理時は、診療年月に7月を指定して処理を実施してください。

③ 25日提出CSVデータの変更詳細

	現 行	改 正 後
ファイル名	「点数表コード（1桁）＋医療機関コード（7桁）」 拡張子“UKE” ※点数表コード 1：医科 (例) 医療機関コードが777777の ファイル名：777777.UKE	10日提出分 「点数表コード（1桁）＋医療機関コード（7桁）」 拡張子“UKE” ※点数表コード 1：医科 (例) 医療機関コードが777777の ファイル名：777777.UKE
		25日提出分 「点数表コード（1桁）＋医療機関コード（7桁）」 拡張子“UKE” ※点数表コード 3：医科25日請求分 (例) 医療機関コードが777777の ファイル名： <u>3777777.UKE</u>
コントロールレコード(レコード種別：1)に記録する「提出先番号」	1：支払基金 2：国保連合会	1：支払基金 2：国保連合会 <u>3：国保連合会25日請求分</u>
データレコード(レコード種別：2)に記録する「交換情報識別番号」	7111：出産育児一時金等請求書情報 7121：出産育児一時金等代理申請・受取請求書情報	10日提出分 7111：出産育児一時金等請求書情報 7121：出産育児一時金等代理申請・受取請求書情報
		25日提出分 <u>7112：出産育児一時金等請求書情報</u> <u>7122：出産育児一時金等代理申請・受取請求書情報</u>

※点数表コードの3（医科25日請求分）についてはファイル名でのみ使用します。コントロールレコード、データレコードに記録する医療機関等番号については従前どおり1（医科）を使用して記録することとなります。

5. 処理の流れ（7月～8月の請求処理例）



6. 出産育児一時金チェックリストについて

出産育児一時金チェックリストの明細欄に「請求日」の項目を追加しました。
【(107)出産育児一時金画面】で設定した内容を記載します。

7. テーブルの項目追加について

プログラム更新時に分娩管理テーブル (TBL_BUNBEN) に項目を追加します。
追加項目：提出日区分 (TEISYUTUBIKBN)

8. マスタ提供 (マスタ更新機能による提供を行います)

システム管理マスタ、統計メモマスタの出産育児一時金請求書プログラムについて、作成時パラメタ、パラメタ説明データを提供します。